

外国人患者の受入れに係る病院向け調査の結果について
(平成 27～令和元年度対象)

○ **回収状況**

回収状況	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
回答病院数 (機関)	201	187	235	201	178
回収率 (%)	62.4	57.9	72.5	72.8	71.2

① **病院数・患者数ともに増加**してきている。

受入れ数	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
病院数 (機関)	14	15	25	30	31
患者数 (人)	224	244	346	589	1,099

② 「中国」からの患者が最も多い点は、変化がないが、「健診・検診分野」・「治療分野」とともに「中国」やアジア各国からの患者が増加している。

《**健診・検診分野**》

(人)

国名	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
中国	68	114	97	200	401
ベトナム	0	8	2	1	119
インドネシア	0	0	0	4	38
ネパール	0	0	0	0	32
カンボジア	0	0	0	0	16
フィリピン	1	0	0	0	12
タイ	0	0	0	0	11
モンゴル	0	0	0	0	3
バングラデシュ	0	0	0	0	2
ブラジル	0	0	8	0	0
韓国	2	0	0	0	0
アメリカ	1	0	0	0	0
小 計	72	122	107	205	634

《治療分野》

(人)

国名	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
中国	119	116	206	348	412
ベトナム	0	3	12	11	8
アメリカ	3	0	1	3	7
フィリピン	3	0	0	1	7
タイ	0	0	0	2	6
ブラジル	2	0	8	1	5
インドネシア	0	0	1	9	4
モンゴル	3	1	0	0	4
韓国	0	0	0	1	2
香港	0	0	0	0	2
インド	0	0	0	1	1
フランス	0	0	1	0	1
ベルギー	0	0	0	0	1
オランダ	0	0	0	0	1
オーストリア	0	0	0	0	1
ドバイ	0	0	0	0	1
シリア	0	0	0	0	1
オーストラリア	0	0	0	0	1
その他	22	2	10	7	0
小 計	152	122	239	384	465

マレーシア、ミャンマー、カナダ[※]、トルコ、マケドニア、イタリア、ドイツ、台湾、スーダン、ネパール、メキシコ、イギリス、不明

- ③ 価格設定は、診療報酬単価と「同じ又はそれ以下」が最も多い点は、変化がない。一方で、「2倍以上 2.5倍未満」や「3倍以上」が増加傾向となっている。

(機関)

価格設定	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
診療報酬単価の					
同じ又はそれ以下	7	5	12	16	20
1.1倍以上 1.5倍未満	2	2	1	1	0
1.5倍以上 2倍未満	2	2	3	2	1
2倍以上 2.5倍未満	2	4	4	7	7
(同じ以上)2.5倍未満	-	-	1	-	-
2.5倍以上 3倍未満	0	0	0	0	0
3倍以上	1	2	3	4	3
小 計	14	15	24	30	31

- ④ 診療分野・診療科は、「健診・検診」及び「概ね全分野」が多く、増加傾向
 となっている。＜複数回答＞

(機関)

診療分野・診療科	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
健診・検診	5	7	11	15	14
概ね全分野	5	5	10	11	13
整形外科	0	2	1	2	1
放射(陽子)線治療(外科)	1	1	2	1	1
脳神経外科	1	2	1	1	1
分娩(産科)	0	0	1	1	1
リハビリテーション科	0	0	0	1	1
口腔外科	0	0	0	1	1
消化器外科	0	0	0	1	1
婦人科	0	0	0	1	1
小児科	0	0	0	1	1
腎臓内科	2	1	0	0	1
精神科	0	0	0	0	1
内科	0	0	0	0	1
循環器(内)科	1	4	1	2	0
消化器(内)科	1	4	1	1	0
心臓(血)管外科	2	3	1	1	0
歯科	1	1	0	1	0
形成外科	0	0	0	1	0
眼科	0	0	0	1	0
泌尿器科	0	0	2	0	0
透析内科	0	0	1	0	0
肝臓内科	0	0	1	0	0
免疫細胞治療	0	0	1	0	0
がん治療	2	1	0	0	0
血管外科	2	1	0	0	0
ペインクリニック	0	1	0	0	0
その他	0	2	0	0	0
小 計	23	35	34	43	39

⑤ 体制整備については、

機関の数で見ると、「国際医療コーディネーターとの連携」、「医療通訳を院外から必要に応じて手配」、「契約書、同意書、検査内容説明書等の各種文書の多言語対応」が多い。

各項目が受入れ病院に占める割合で見ると、平成 28 年度以降、全体的に減少傾向であり、さらに平成 30 年度以降は全ての項目で半数未満となっている。〈複数回答〉

(機関)

受入れに向けた体制整備	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
外国人患者受入窓口(国際診療科等の専門部署・スタッフ)の設置	5 (36%)	4 (27%)	5 (20%)	4 (13%)	4 (13%)
多言語に対応した院内表示	6 (43%)	8 (53%)	8 (32%)	9 (30%)	8 (26%)
医療通訳を院内のスタッフとして配置	4 (29%)	4 (27%)	4 (16%)	4 (13%)	6 (19%)
医療通訳を院外から必要に応じて手配	9 (64%)	10 (67%)	13 (52%)	12 (40%)	11 (35%)
多言語に対応した医療従事者(医師・看護師など)の配置	2 (14%)	4 (27%)	3 (12%)	7 (23%)	7 (23%)
外国人患者受入れに対応した診療施設、入院施設の設置	2 (14%)	3 (20%)	2 (8%)	3 (10%)	3 (10%)
契約書、同意書、検査内容説明書等の各種文書の多言語対応	5 (36%)	9 (60%)	8 (32%)	9 (30%)	11 (35%)
情報発信・プロモーション活動	5 (36%)	4 (27%)	3 (12%)	7 (23%)	3 (10%)
国際医療コーディネーターとの連携	4 (29%)	6 (40%)	12 (48%)	11 (37%)	12 (39%)
国際医療コーディネーター以外の機関(国内外の医療機関、自治体、旅行会社など)との連携	7 (50%)	5 (33%)	5 (20%)	8 (27%)	4 (13%)
その他	1 (7%)	1 (7%)	2 (8%)	2 (7%)	3 (10%)
小計	50	58	65	76	72

※ () は、各年度の受入れ病院数に対する割合

⑥ 提供する業務（サービス）については、

機関の数で見ると、「支払い手続き」、「患者情報の入手」、「医療通訳・医療結果翻訳」が多い。

各項目が受入れ病院に占める割合で見ると、「支払い手続き」が高くなっている。〈複数回答〉

(機関)

提供する業務（サービス）		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度
事前	患者情報の入手	6 (43%)	17 (68%)	17 (68%)	20 (67%)	17 (55%)
	同意書の締結	5 (36%)	18 (72%)	18 (72%)	22 (73%)	16 (52%)
	ビザの手配	5 (36%)	5 (20%)	5 (20%)	7 (23%)	10 (32%)
	必要書類の翻訳	6 (43%)	13 (52%)	13 (52%)	23 (77%)	15 (48%)
	来日搬送の手配	5 (36%)	5 (20%)	5 (20%)	6 (20%)	9 (29%)
	航空券・宿泊施設の予約	5 (36%)	4 (16%)	4 (16%)	4 (13%)	7 (23%)
	滞在	空港・医療機関・宿泊施設の送迎同行	4 (29%)	6 (24%)	6 (24%)	7 (23%)
医療通訳・医療結果翻訳		9 (64%)	20 (80%)	20 (80%)	22 (73%)	17 (55%)
院内での特別食の提供		4 (29%)	10 (40%)	10 (40%)	17 (57%)	14 (45%)
支払い手続き		6 (43%)	15 (60%)	15 (60%)	19 (63%)	18 (58%)
生活面・観光での支援		4 (29%)	3 (12%)	3 (12%)	6 (20%)	7 (23%)
帰国	アフターケアの支援・再診の調整	5 (36%)	7 (28%)	7 (28%)	9 (30%)	13 (42%)
小 計		64	123	123	162	153

※（ ）は、各年度の受入れ病院数に対する割合